



ひらかたエコフェアに初参加!

活動内容の紹介やアンケートを実施

地球温暖化など地球規模の環境問題を解決するため、現在の大量消費の生活スタイルを問い直そうと、市民、事業者、行政の三者が協働して行うイベント「ひらかたエコフェア 2004」(ひらかたエコフェア実行委員会主催)が、11月21日(日)にラポールひらかたで開催されました。ひらかた環境ネットワーク会議は、3階ロビースペースで活動内容のパネル展示やスタンプラリーなどを行いました。展示ブースには多くの来場者が訪れ大盛況となりました。

目次

エコフェアの報告	2
臨時レンタサイクル	3
各部会 & 運営委員会の活動	4
特集部会紹介	6
お知らせ	7
団体紹介	8

ひらかた
エコフェア
2004

これまでの活動成果を発表 大盛況のネットワーク会議ブース

会場には大人から子どもまで多くの人
が訪れた



各部会が工夫を凝らした展示

「ひらかたエコフェア 2004」に初めて参加したひらかた環境ネットワーク会議は、各部会の活動内容を中心としたパネル展示を行いました。

自然環境部会では、「天の川の源流はどれでしょう？」などクイズ形式の展示を行い、活動内容を紹介しました。また、どんぐりごま体験コーナーを設置、子どもたちでにぎわっていました。

ごみ・エネルギー部会では、ごみ減量やエネルギーの使用抑制についての説明に加え、EM菌が入った土だんご「元気玉」などを展示しました。

公共交通部会では、10月22日に行われたバス

期待に応えられるよう体質強化を

エコフェア実行委員会・石原了さん（ネットワーク会議会員）

出展に当たっては会員の皆様方から多大のご支援・ご協力を頂き、有難うございました。多くの来場者に「ひらかた環境ネットワーク会議」の活動を力強く印象付ける事ができ、大きな意義がありました。一方、「ひらかたエコフェア」は7年目を迎え、一部マンネリ化も指摘されており、新しい趣向を求めて、その企画・運営を「ひらかた環境ネットワーク会議」に担って欲しいとの期待が寄せられています。その期待に応えられるよう我々の体質強化が焦眉の急を要する課題と言えます。

ロケーションシステムを体験するフィールドワークの報告や、「臨時レンタサイクル」（3ページ参照）の様子などを展示しました。

まちづくり部会では、来場者に「枚方のまち、ここが好き、ここが嫌い」というアンケートを実施し、その答えを基に枚方市の好感度マップを作成しました。

環境教育サポート部会では、府立磯島高校・枚方なぎさ高校で実施する「学校版EMS」の紹介などを展示しました。

大人気のスタンプラリー

また、できるだけ多くの人にネットワーク会議のブースへ来てもらおうと、景品付きのスタンプラリーを実施しました。これは5部会の展示ブースを周り、スタンプを5個集めた来場者に、景品（お菓子詰め合わせ）をプレゼントするというもので、子ども連れをはじめ、多くの来場者が参加しました。午後2時過ぎには、用意した景品500セットがすべて無くなるほどの人気でした。

スタンプ台紙の配布に合わせ、会報「環境ひらかた」と、パンフレット「入会のご案内」を配布し、ネットワークの輪の拡大にも努めました。

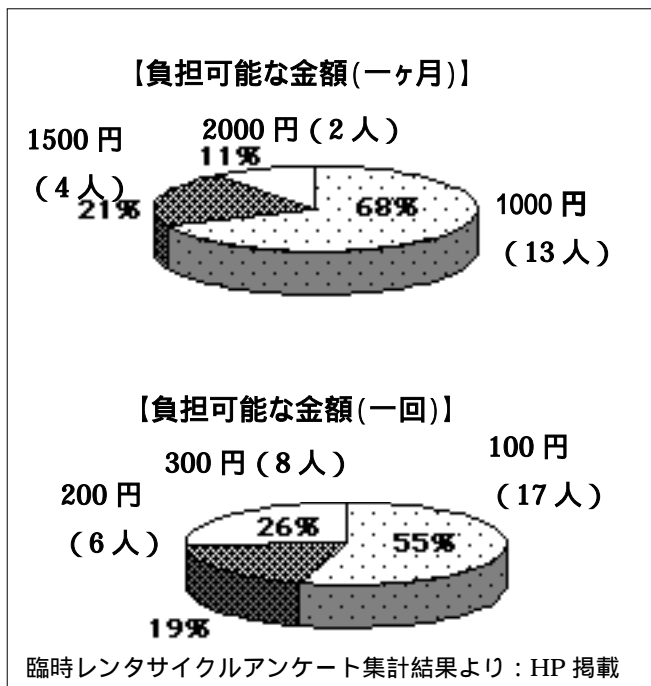
多くの来場者に活動をアピール

今回、ネットワーク会議としてエコフェアに参加するのは初めてということもあり、準備段階から手探りの状態でしたが、大盛況のうちに終わることができました。ブースを訪れた来場者からは「ネットワーク会議の活動内容がよく分かった」「ブースがにぎやかで楽しそう」などの声が聞かれ、ネットワーク会議の活動を理解してもらえた様子でした。しかし「もっと体験型の展示を増やして欲しい」「狭いスペースでごちゃごちゃしている」などの声も聞かれ、次回への課題も残しました。



快適な自転車利用を促進

11月6日、7日の両日に「大阪府都市緑化フェア 20周年記念山田池公園大会」が開催されました。公共交通部会では、交通の利便を図るためJR藤阪駅と山田池公園にサイクルポートを設置し、臨時レンタサイクルを実施しました。



JR藤阪駅から山田池公園へ、1号車には、中司宏市長が乗車(写真中央)

あらゆる世代の方が利用され、利用者は両日合わせて100人を超えました。利用者からは「各駅に格安のレンタサイクルがあれば便利」「今回のように乗り捨てできるといい」「変速機付きがいい」などの声がありました。

今後も公共交通部会では、「放置自転車を減らし、自転車の利用をもっと快適にするには、どうすればいいのか」の一つの解決策として、レンタサイクルを推進していきます。

ネットワーク会議のさらなる発展へ NPO法人化を検討

ひらかた環境ネットワーク会議のNPO法人化について検討する「NPO法人化検討会議」を、12月14日にひらかたNPOセンターで開きました。この会議は、活動の充実や社会的信頼性の向上、安定した組織運営を行うために必要不可欠となるNPO法人格の取得を検討するために開催したものです。

会議には、運営委員を含む9人が出席。同センターコンサルタントの堀野巨求さんに

よる「NPO法人について」の講義を聞き、意見交換を行いました。堀野さんは「安定した財源を確保し、活動を発展させるには、法人化が必要」と話し、出席者からも「任意団体では信用がなく、外部との連携に支障がでる。早く法人化して欲しい」など法人化に積極的な意見がでました。

今後も多くの会員の意見を聞きながら、NPO法人化について検討を進めていきます。

●各部会の活動

自然環境部会



市民の望む枚方市って...？

自然環境部会は、昨年開催されたエコフェアで、来場者に枚方市の自然環境についての思いを「こうなったらいいな」「こうしたらどう？」ということで、ポストイットに書いていただき「希望の樹」を作りました。そこには、「緑豊かな...」「川遊びができるような川に...」「ごみの無いきれいで安全な...」「森がありいろんな生き物がいる...」「ごみのポイ捨てをやめよう...」「グリーンコンシューマーになろう」「植樹をしよう」「環境条例を...」等々、市民の方々の思いが書かれていました。その数 100 枚以上！！ 改めて市民の環境に対する意識の強さを感じさせられました。



ごみ・エネルギー部会



ワーキンググループが発足

平成 16 年度は部会員相互理解および情報共有化のために、行政・個人・団体ですで行われている取り組み・活動の現状報告・紹介を行ってきました。同時にごみ及びエネルギー分野の現状・問題点を広く展望して、意見の集約および統一的な方向・実践活動を模索してきました。

第 10、11 回部会では「環境システム研究の紹介と部会への期待」などのテーマで、引き続き意見交換を行いました。第 12 回部会では「生ごみ減量・堆肥化の拡大」「有機性廃棄物のバイオガス化・エネルギー変換可能性調査」「地域ごみ減量（減量推進員制度）の実態調査」「資源化廃棄物の実態・追跡調査」「廃食用油リサイクルの需要開発」「自然エネルギー学校設立準備」「雨水利用の可能性調査」「エコライフの普及」など今後の部会活動テーマ・ワーキンググループ（WG）が提案されました。WG活動を共に支え合う新入部会員を大募集しています。

公共交通部会



レンタサイクル事業の実験を計画

樟葉駅前地域のリニューアルに伴い、公共交通活性化のための「くずは地域の交通環境に係る懇談会」（第 1 回は 12 月 16 日）に公共交通部会として参加しています。

自転車グループでは、来年度には 1 週間のレンタサイクル事業の実験を行うべく、企画を進めているところです。11 月 22 日には、当時行われていた、茨木市でのレンタサイクル社会実験を見学しました。また、自転車マップづくりなどを進めています。

バスグループでは、バスを利用しやすいものにするための検討を進めていますが、樟葉地域の公共交通の現状を視察し、改善策などを検討していきます。

